

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→

（注）令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直しに向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数など観光面が依然として厳しい状況にあるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、好調な電子部品・デバイスを中心に、持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率に下げ止まりの兆しがみられるなど、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある	↗
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている	→
設備投資	2年度は減少見込み	2年度は減少見込み	→
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	→
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる	→

【先行き】

先行きについては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

百貨店・スーパー販売は、食料品が堅調であることや来店客数の戻りがみられることから持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、中食需要が堅調であるものの、来店客数の減少などにより弱い動きとなっている。ドラッグストア販売は、衛生用品や食料品が堅調である。ホームセンター販売は、DIY関連商品や園芸用品が好調である。家電大型専門店販売は、生活家電、テレビ、パソコンを中心に好調である。乗用車の新車販売は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。宿泊者数（延べ）は、緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況にある。

（主なヒアリング結果）

- 例年ほどに戻りきれていないものの、感染の落ち着きとともに来店客数は増加している。洋菓子やタオル・ハンカチなど、送別用のギフトに動きがみられた。（百貨店・スーパー）
- 食料品は引き続き巣ごもり需要がみられ、冷凍食品や生鮮食品だけではなく総菜やギフトも含めて全体的に好調となっている。衣料品は、気温上昇や卒業式・入学式が実施されたことにより多少動きがみられたが、例年と比較すると低水準にとどまっている。（百貨店・スーパー）
- 感染者の減少により回復傾向にあるが、客数減少、客単価は上昇しており、例年どおりとは言えない。レイアウトの変更やサラダ・総菜・冷凍食品の充実など消費行動の変化に対応してきており、これらの商品は前年を上回っている。（コンビニエンスストア）
- 昨年の特需の反動がみられているものの、一昨年と比較すると引き続き食料品やマスク・消毒液・ハンドソープなどが好調。（ドラッグストア）
- 日用品については前年の特需の反動がみられているものの、気候が良かったこともあり、DIY関連商品や園芸用品は引き続き好調が続いている。（ホームセンター）
- エコポイント事業から10年経ちテレビなどで買い替え需要が続いており、新生活商戦ではテレワークやオンライン授業が増加している影響でパソコンが好調であった。（家電大型専門店）
- 新車販売は消費税率引上げ後の落ち込みがあったことから前年を上回っている状況だが、感染症拡大によりイベント等を自粛した影響がみられ回復が鈍化している。（自動車業界団体）
- 緊急事態宣言が解除されたものの、スポーツキャンプが無観客での実施になるなど引き続き厳しい状況が続いている。足下ではビジネス関係の動きがみられていることから小幅ではあるが改善している。（宿泊施設業界団体）

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

食料品等は、横ばいの状況にある。電子部品・デバイス、車載向け部品を中心に好調である。化学・石油製品は、一部に弱い動きがみられる。汎用・生産用・業務用機械は、半導体製造装置が持ち直している。輸送機械は、自動車及び同部品の一部に半導体不足の影響がみられるものの、持ち直している。

- 新型コロナウイルス感染症の影響による飲食店の営業自粛等により、家庭向け焼酎パック製品などは堅調に推移しているものの、業務用の売上をカバーできるまでには至っていない。（食料品等）
- 感染症の影響で落ち込んでいた車載向け半導体関連の受注が回復し、ファウンドリも回復してきているため、工場全体でフル稼働となっている。（電子部品・デバイス）
- 感染症の影響で医療機関向けを中心に消毒液の受注が好調に推移していたが、在庫の蓄積等による落ち着きがみられる。（化学・石油製品）
- 5Gやデータセンター需要により、半導体関連では設備投資案件の引き合いが強く引き続き好調であるほか、自動車関連ではEV関連が堅調に推移している。（汎用・生産用・業務用機械）
- 主力商品の生産が好調であるほか、半導体不足については保有在庫により概ね足下までの生産に影響はなく、計画に沿ったフル生産が行われている。（輸送機械）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は、下げ止まりの兆しがみられる。新規求人数は、宿泊業・飲食サービス業、公務・その他、卸売業・小売業を中心に前年を下回っている。

- 新規求人数は一部の業種で持ち直しの動きがみられるが、先行きは感染症の状況次第であり、依然として不透明。（公的機関）
- 感染症の影響による稼働率低下、一時休館により、出勤日数を調整しているところ、雇用調整助成金を活用して雇用維持に努めている。アルバイト従業員の募集は、しばらくの間取りやめている。（宿泊業・飲食サービス業）

■ 設備投資 「2年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、生産用機械器具製造業などで増加見込みとなっているものの、情報通信機械器具製造業などで減少見込みとなっており、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業では、卸売業などで増加見込みとなっているものの、金融業、保険業などで減少見込みとなっており、全体では減少見込みとなっている。

- コロナ禍によるスマートフォン市場の減速や高価格帯製品の販売減少を受けて投資を抑制。(情報通信機械器具製造業)
- 前年度の新店舗建設のための大型投資の反動減。(金融業、保険業)

■ 企業収益 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 製造業では、食料品製造業などで増益見込みとなっているものの、生産用機械器具製造業などで減益見込みとなっており、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、農林水産業などで増益見込みとなっているものの、宿泊業、飲食サービス業などで赤字転化見込みとなっており、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超に転じる」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期

- 企業の景況判断BSIは、前期(2年10-12月期)に比べ、全産業では「下降」超に転じている。なお、先行きについては、3年4-6月期は「下降」超幅が縮小し、3年7-9月期は「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「弱含んでいる」

- 新設住宅着工戸数をみると、前年を下回っている。

■ 公共事業

- 公共工事前払金保証統計の請負金額(2年度末累計)でみると、前年度を上回っている。

■ 農業

- 野菜の農協共販量をみると、12月、1月は前年を下回り、2月は前年を上回っている。野菜の販売単価をみると、12月、1月は前年を下回り、2月は前年を上回っている。
- 牛のと畜頭数をみると、12月は前年を上回り、1月、2月は前年を下回っている。牛の枝肉卸売価格をみると、12月から2月まで前年を上回っている。
- 豚のと畜頭数をみると、12月は前年を上回り、1月、2月は前年を下回っている。豚の枝肉卸売価格をみると、12月から2月まで前年を上回っている。

■ 倒産

- 企業倒産(3年1-3月期)は、件数、負債金額ともに前年を下回っている。

3. 各県の総括判断

	前回(3年1月判断)	今回(3年4月判断)	前回比較	総括判断の要点
熊本県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→	個人消費は、持ち直しに向けた動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊者数など観光面が依然として厳しい状況にあるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、好調な電子部品・デバイスを中心に、持ち直しつつある。雇用情勢は、有効求人倍率に下げ止まりの兆しがみられるなど、一部に底堅さがみられるものの、感染症の影響により弱い動きとなっている。
大分県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光関連が厳しい状況にあるなど、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、緩やかに持ち直しているほか、雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
宮崎県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	→	個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き百貨店・スーパー販売などで前年を下回っているほか、レジャー・観光施設の入場者数及び宿泊者数が減少していることから、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、化学工業や繊維工業を中心に緩やかに持ち直しつつあるほか、雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。
鹿児島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	→	個人消費は、宿泊・観光面で厳しい状況が続いている一方、引き続き巣ごもり需要による動きがみられることなどから、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。